

濁水かわら版

第 86 号 19 年 7 月 20 日

ボケ防止を兼ねて 中安 宏規

日本の総理大臣 ③

黒田内閣の続編

第 85 号では黒田内閣が、伊藤内閣の居抜き内閣であったこと、また文部大臣森有礼が西洋かぶれと叩かれた廃刀令否決の経緯を紹介した。森は憲法発布の日に暗殺れる。今回は第 84 号の黒田内閣の続編と補足である。

内閣の凡例(再掲) 氏名赤字長州 青字薩摩出身
黒字は他藩 *は出身地 (兼)は兼務 陸・海は軍人



福澤諭吉



大隈重信



伊藤博文

【2】黒田清隆内閣 (1888/4/30~89/10/25 在任 544 日) 宮内大臣:土方久元 (注:85 号の再掲)

首相	外務	内務	大蔵	陸軍	海軍	司法	文部	農商務	逓信
黒田清隆	大隈重信 *佐賀	山縣有朋 松方(兼) 山縣復職	松方正義	大山 巖 陸	西郷従道 海	山田顕義	森 有礼 大山(兼) 榎本武揚	榎本(兼) 井上 馨 岩村道俊 *土佐	榎本武揚 *幕臣 海 後藤象二郎 *土佐

*班列 伊藤博文 *内閣書記官長・小牧昌業(薩摩藩の漢学者) *法制局長官・井上毅(熊本)

*1888/4/30 枢密院が設置され伊藤博文が議長就任。特に内閣に班列(並ぶ→ここでは無任所大臣での入閣)。

*1889/2/11 明治憲法発布。文相・森有礼が暗殺された。

*1889/10/18 外相・大隈重信が条約改正問題で凶漢におそわれ負傷。

大隈・伊藤の衝突

① 黒田清隆内閣の続き:前号で黒田が北海道開拓使次官で尽力したことを伝えた。具体的には渡米して米農務長官ケプロンを招聘。①札幌の都市計画 ②札幌農学校(北海道大学)開校 ③営農の指導を受け、④自らも屯田兵制度を導入した。その功績で開拓使長官となり天皇から 3000 円を賜る。

② 政府は資本主義化を進めるため国営事業を進めてきた。だが、多くが赤字で 1880(明治 13)/11/05 日、「官営事業払下げ概則」を定め、軍事工場以外の国営事業の払下げを促進した。北海道開拓使事業は 10 年目の 1881(明治 14)年、民間への払下げを決めた。10 年間の投資≒1410 万円に対し払下げ額 38 万円余。しかも無利子 30 年々賦で黒田出身の薩摩の政商・五代友厚(1835-85 年)や旧幕臣が経営する大阪の関西貿易商会への売却。当時政府の参事・大隈重信や自由民権派市民が強く反対した。

③ 図 A は「明治 14 年の政変」と伝わる 1881 年の概略である。7 月までの半年は「英国流の民権憲法」制定(注:英国に成文憲法は無い)考えていた大隈・福澤諭吉と、天皇中心の「君権の憲法」を目指す伊藤・岩倉・黒田らの薩長とが対立。そこに →次ページへ

図 A 【明治 14 年の政変】の概要 1881 年

月/日	主な出来事
80/11/05	官営事業払下げ概則制定
81/1/12	大隈重信・伊藤博文・井上馨・黒田清隆が熱海で憲法大綱を協議も一致せず。
3 月	大隈、国会開設意見書を提出(①83年国会開設 ②英国風の政党内閣制を主張)し左大臣有栖川宮に他の参議や大臣に見せない条件で天皇への上奏を託す→有栖川宮は太政大臣三条実美・右大臣岩倉具視に見せ、最後に伊藤博文に見せる→伊藤は「これまで大隈に相談してきたが裏切られた」と激怒した。
7/05	伊藤・大隈会談。伊藤は「君権を放棄する案で同意出来ない。福沢如き者の代理だ」と非難。
7/29	政府、開拓使所有物払下げを閣議決定。
7/30	天皇、東北～北海道の巡行出発。大隈同行
7/31	払下げ発表→新聞や自由民権派の世論の反対が高まる。政府内は、大隈がリークし福澤系の新聞記者が書いていると考えたようだ→黒田は「天皇の命令なら」払下げ中止を認める。
10/07	伊藤が岩倉を訪ね国会準備の勅諭案を示し大隈罷免を力説。西郷従道も岩倉訪問。
10/09	岩倉邸で三条実美・伊藤・西郷・山田顕義らが御前会議の方針を最終協議した。
10/11	天皇千住着 同日、御前会議開く。
10/12	政府、国会開設は 1890(明治 23)年と発表。
10/13	大隈追放で、大隈派の官職が次々辞任。

前頁から) 黒田発案の払下げ問題が加わった。政府内にも反対意見はあったが、両派の対決が激化。

伊藤 御前会議を利用

④ 天皇帰京直前の10/7日 伊藤と西郷従道が岩倉を訪問。大隈を批判。次いで10/09日、岩倉邸で御前会議の方針を話し合った。①天皇を千住まで出迎え、直ぐ御前会議を開き現状を説明。②立憲政体の方針を決め、③大隈を罷免。④国会開設時期を決定。⑤払い下げ中止などを決めた。

⑤ 大隈の後年回顧 「世論が激高したのは専制政治に起因したからだ。専制政治を倒し立憲制にすれば、国民が監督することになり、かかる不正事件は起きないと、政府を攻撃した。我輩が、天皇の行幸に供奉(同行)している2か月半の間に彼らは何か相談したらしく、御前会議は夜中にも拘わらず、ほとんど徹夜して開いた様子だ。大隈が内閣より退くこと、同時に憲法発布の詔勅を下すことに決定したのである。詔勅が出なければ、人心は益々激高し如何なる珍事が起るか予測出来ないほどだった」(④⑤の出典は、鈴木安蔵「憲法の歴史的研究」1893年刊より)

⑥ 福沢諭吉の追撃 大隈追放直後の10/14日、井上馨・伊藤博文に宛て6500字に及ぶ書簡を送った。

要旨は13年末、大隈宅へ参集の話あり。「大隈・伊藤・井上の3参議から、国民を導く新聞発行」を依頼された。即答を求められたが、老生には小事でなく、応諾せず別れた。ところが本年1月、井上宅で「政府は国会を開く」と聞き、その英断に賛成した。明治政府は会議至上主義で成立し、余は薩長の藩閥主義をいつまでも続けるべきに非ず、と考える。強いて続ければ、政府交代に銃剣を用いるに陥る。国会が開設されれば、如何なる政党が進出するも、民心の多数を得たる者へは尋常に政府を譲渡せん。覚悟を定め、新聞紙も公明正大に筆を振るいたきものなり。事を成すは3名(大隈・伊藤・井上馨)で、鹿児島参議は傍観者なり…。3参議は決して福沢を売らず、福沢も決して3氏を欺く可からず…。この長文の書簡に、井上は福澤の「ヒストリーを認める」短い返書を送るも、伊藤からの返事は届かなかった。(新潮文庫「福沢諭吉・人と書簡」より)。

⑦ 大隈と連袂(一緒に)辞職した主な人々

①農商務卿 河野敏謙 ②逓信総監 前島密 ③統計院幹事太政官大書記官 矢野文雄 ④判事北畠治房 ⑤統計院権少書記官 尾崎行雄 ⑥同大養毅 ⑦会計査院一等検査官小野 梓 ⑧外務

権大書記官 中上川彦次郎 ⑨外務権少書記官 小松原英太郎 ⑩文部権大書記官 島田三郎。

⑧登場人物と大学。黒田清隆は札幌農学校・大隈重信は早稲田大学・福沢諭吉は慶応大学創設者である。札幌農学校は官学だがクラークの影響を受けた私立的な大学であった。

⑨14年の政変の結果、①国会開設が決まる。②官吏登用が東大卒になる。③特色ある私学3校(同志社を含む)が開校し、重みのある進歩と思われる

大隈の復帰

⑩「維新の三傑」という言葉がある。大久保利光が1878/5/14日、東京紀尾井坂で暗殺された半年後の11/12日、岩村吉太郎編「皇国三傑伝」が出版された。①大久保 ②木戸孝允 77/5/26日病没

図 B



大隈夫人 綾子 (早稲田大学人名データベースより)

③西郷隆盛 77/5/14日、自刃。この3名が維新の3傑として伝わったようだ。ならば伊藤は薩長の第2世代になる。大隈や福沢、板垣退助らはリベラルな自由民権派の第1世代と言えよう。だが薩長派は人材不足に陥る。第1次伊藤内閣で外相井上が辞任後、大隈を迎え、黒田内閣で留任させた。

⑩大隈は憲法発布の89年、密かに懸案の条約改正に取り組んだ。①領事裁判権を撤回すれば ②日本内地を解放する。③大審院(最高裁)判事に外国判事を任用。金額100円以上の上告事件に参与させる。10年間継続後、列国は日本の司法権を承認し判事を引き揚げる。これを同年4/10日のロンドンタイムスが伝えた。「大審院に外国判事を任用するとは屈辱」の反対論が沸き起こる。それもかまわず大隈は米・独・露との調印を進めた。

⑪大隈、爆裂弾で重傷 この条約問題を巡る御前会議が10/15日開かれたが、激論の末結論が出なかった。その後も会議は続き、大隈は18日の閣議後、外務省前で福岡県人来島恒喜に爆裂弾(ベルツ日記はダイナマイトと記す)を投げられ右脚が砕ける傷を負った。夫人綾子(図B)が呼ばれた。彼女は外科医・佐藤進(順天堂病院長)を呼び寄せた。佐藤は「私の見た所では、股の上部から切断せねばなるまい。近親お立合いを願いたい」。家令(華族の会計などの管理者)は「親類全部を呼び寄せよう」と言った。美しく優しい冒しがたい → 次ページへ

最後に 外交が得意という安倍外交を少しだけ問います

夫人こそ大隈の命の恩人

前頁から) 綾子に決心の色が浮かんた。「親族は私一人で代表します。如何なる危険があっても、佐藤さんの言われる通り、根本的手術をやって下さい」。佐藤が、鋸で骨を引き始めた時、人々は眼をそむけたが、夫人は佐藤の手先を熟視した。大隈は細君のお陰で命拾ひしたのだ。(小松緑「明治史実外交秘話より」)

旗本の令嬢 綾子

⑩ 大隈の命を救った綾子夫人とは？ 明治の偉人伝は夫人や家族の人柄はおろか、写真などは皆無に等しい。ところが綾子の人柄を彫刻家・高村光雲(1852-1934 年:高村光太郎の父)が書き残していた。光雲の師匠は木彫家・高村東雲。浅草の駒形に住まい顔の広い人だったようだ。話は…

⑪ 御徒町に住まう豊かな旗本三枝龍之介が、師匠に屋敷を処分したいと相談に来た。だが買い手がなく、師匠が買い取った。その材木で師匠は姉お悦の家を建てる(注:光雲は徴兵逃れのため、悦の養子になる)。次に三枝は師匠に、縁起直しに大黒さんを彫って欲しいと頼んだ。師匠は、木目の玉が頭巾や腹、俵の左右に出るような2寸4分(≒7.3cm)の大黒を彫る。三枝は大喜びして間もなく、妹の綾が大隈重信と

いう人に貰われていった。綾の母、三枝未亡人が師匠を訪ねてきた。「実は綾の事です、お侍で大隈という人からは是非欲しいというので、承諾したのですが、まるで娘を掠奪のような具合で驚きました」。なんでも人力車に書生をつけてよこして花嫁御寮を乗せて、さっさと連れて行ったという。三枝未亡人が「綾が取ってたべられそうな人なので…」と話すと、師匠は「今の世は、そういう男が役立つのですよ。ご安心なさい」と慰めた。光雲は未亡人が処分して欲しいと頼んだ、綾が書いた2000枚に及ぶ「南無阿弥陀仏」の短冊を隅田川の川施餓鬼(水死人の冥福を祈る)の日に弟子と1枚ずつ流した。(岩波文庫・高村光雲著「幕末維新回顧談」より)

森有礼の暗殺

前号で森有礼が憲法発布の1889/2/11日朝、自宅で暗殺されたのみ記した。犯行に及んだのは山口県萩城下の神官の子・西野文太郎であった。門外で警備中の護衛が刀で肩先を切りつけ、ひるむ所に一刀を加え殺害した。懐中の檄文には、森が伊勢神宮参拝で不敬行為があったことが許せないと記している。当時、森の不敬行為の噂が流れたらしいが、不敬行為の内容は定かでないようだ。

安倍外交のお粗末さ

① 図A 事件を忘れた方はあるまい。2015/1月、安倍首相が「積極平和外交」を掲げエジプトなど中東5か国を訪問、総額30億ドルの支援を表明。反発するIS(イスラム国)が拘束していた湯川・後藤両氏を殺害した。英ガーディアン電子版は「世界の舞台で存在感を高めようとする安倍首相の試みに必然的伴うリスクを劇的示した」と伝えた。

② 図B、今年6/12~14日、安倍首相が米国と対立するイランを訪問。それを伝えた海外メディアの反応の1つだ。最高指導者ハメネイ師は「米との和解はない」と伝えた。13日には、ホルムズ海峡で日本と関係あるタンカーが攻撃された。図Aの事件とそっくり。驚いたのは今回も「中東外交デビュー」と見られていること。毎月のように海外訪問をしているが、欧米では軽く見られているのだろう。

③ 図C ドロ沼日韓関係。徴用工への賠償問題を巡り6月のG20で貿易自由化を主張した安倍首相は7/1日、半導体の韓国への輸出制限を発表。二枚舌的な話しはこじれ7/19日、河野外相が韓国大使に「無礼だ」と言い放ったという。これを受け韓国外務省は「河野外相の態度こそ無礼だ」と反発した。第2次大戦の人道被害は、米国は日系人12万人を強制収容。1988年に大統領が謝罪し、日経米国人補償法で1人2万ドル支払い和解。ドイツはユダヤ人強制労働者の提訴を受け、政府と企業が基金を設立。東欧など約100か国166万人に44億ユーロ支払い和解した。戦後70年を過ぎての近隣との風波は日本だけだ。

